



わたし、アナタ、min-na

No. 7

# そのすがたがうれしい

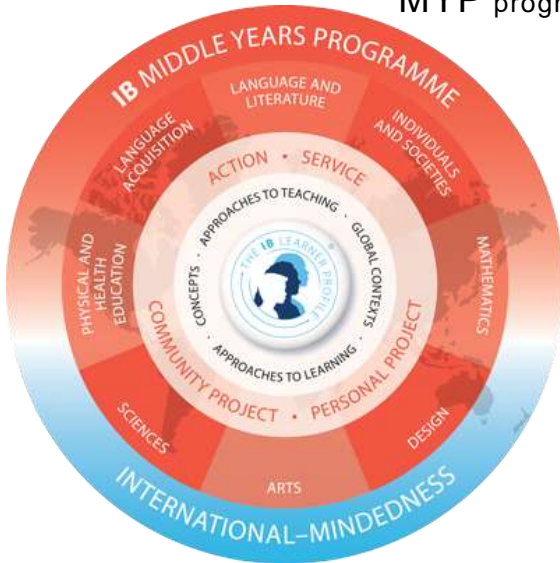
IB 編

令和 4 年（2022年） 4 月 18 日 市立札幌開成中等教育学校便り  
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1  
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629  
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

## 「IB プログラムモデルについて」

MYP programme model

DP programme model



上記の図は IB のプログラムが何を大切にし、その理念や目的を達成するためにどのようなカリキュラムとなっているかがわかるものとなっています。中心には「IB の学習者像（10の学習者像）」があり、そこに描かれている学習者は子供だけではなく、大人の姿も含まれています。この IB の学習者像は、IB ワールドスクールが価値を置く人間性を10の人物像（①探究する人②知識のある人③考える人④コミュニケーションができる人⑤信念を持つ人⑥心を開く人⑦思いやりのある人⑧挑戦する人⑨バランスのとれた人⑩振り返りができる人）として表しています。IB のプログラムはこの学習者像を常に意識し、また近づけるように構成されています。

中心から2つ目の円には、ATT（指導の方法）、ATL（学習の方法）、概念、グローバルな文脈について記載されています。あらゆる学習や経験を抽象化し、また現実世界の具体的な場面や状況で考えることで、思考を深めることができるようになります。その際、教師はより生徒が学習を「自分ごと化」して、主体的に、かつ探究的に学べるよう IB から提示されている指導の方法を活用して授業を行います。そして生徒は生涯学習者として学び続けるための学習の方法を常に練習し、習得することが求められています。

中心から3つ目の円には、コア科目とよばれるパーソナルプロジェクトや奉仕活動などがあり、それらを包み込むように各教科科目の学習が設定されています。自分が何のために学んでいるかを確認するためにも、このプログラムモデルは IB 校に関わる全ての人が意識しなければいけない大切なものです。（文責：DPC 黒井）